

2019年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2018年10月26日

上場会社名 株式会社ショーワ 上場取引所 東
 コード番号 7274 URL <http://www.showa1.com>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 杉山 伸幸
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 関口 誠 TEL 048-554-1151
 四半期報告書提出予定日 2018年11月14日 配当支払開始予定日 2018年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	139,676	△0.6	13,454	16.9	13,372	9.4	10,204	17.5	8,196	19.0	11,511	5.6
2018年3月期第2四半期	140,466	17.0	11,510	—	12,225	—	8,681	—	6,887	—	10,902	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	107.90	—
2018年3月期第2四半期	90.66	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	203,469	117,413	104,903	51.6
2018年3月期	201,967	109,658	96,075	47.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
2019年3月期	—	17.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	15.00	32.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2019年3月期第2四半期配当金の内訳 普通配当15円00銭、記念配当2円00銭

詳細は、本日（2018年10月26日）公表しました「剰余金の配当（中間配当・記念配当）に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	284,000	△2.7	28,500	12.7	28,300	8.7	21,300	16.2	17,300	24.9	227.73

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、添付資料P.4「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.12「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (6) 会計方針の変更」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	76,020,019株	2018年3月期	76,020,019株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	54,328株	2018年3月期	54,044株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	75,965,838株	2018年3月期2Q	75,966,086株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料等については、TDnet及び当社ホームページで開示する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 継続企業の前提に関する注記	12
(6) 会計方針の変更	12
(7) セグメント情報	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2018年4月1日から2018年9月30日までの6ヶ月間)の売上収益につきましては、二輪車用製品及び四輪車用製品の販売は増加したものの、為替換算の影響による減少により、1,396億7千6百万円と前年同四半期に比べ7億8千9百万円(0.6%)の減収となりました。営業利益は原価低減効果による増加並びに前年同四半期に製品保証引当金繰入額を計上していたことにより、134億5千4百万円と前年同四半期に比べ19億4千4百万円(16.9%)の増益となりました。税引前四半期利益は133億7千2百万円と前年同四半期に比べ11億4千7百万円(9.4%)の増益となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は81億9千6百万円と前年同四半期に比べ13億9百万円(19.0%)の増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

<二輪・汎用事業>

二輪車用製品の販売は前年同四半期に比べ、主にアジアにおける販売の増加により、全体で増加しました。

二輪・汎用事業の売上収益は、二輪車用製品の販売が増加したことにより、420億9千5百万円と前年同四半期に比べ32億2百万円(8.2%)の増収となりました。営業利益は、55億7千万円と前年同四半期に比べ1億6千万円(3.0%)の増益となりました。

<四輪事業>

四輪車用製品の販売は前年同四半期に比べ、主に北米における販売の増加により、全体で増加しました。

四輪事業の売上収益は、四輪車用製品の販売が増加したことにより、446億9千3百万円と前年同四半期に比べ5億8千9百万円(1.3%)の増収となりました。営業利益は、33億1千4百万円と前年同四半期に比べ2億6千1百万円(8.6%)の増益となりました。

<ステアリング事業>

ステアリング製品の販売は前年同四半期に比べ、主に北米における販売の減少により、全体で減少しました。

ステアリング事業の売上収益は、ステアリング製品の販売が減少したことにより、452億7千3百万円と前年同四半期に比べ52億2千8百万円(10.4%)の減収となりました。営業利益は、66億4千7百万円と前年同四半期に比べ3億4千万円(4.9%)の減益となりました。

<ガススプリング事業>

ガススプリング事業の売上収益は、16億3百万円と前年同四半期に比べ9百万円(0.6%)の増収となりました。営業損失は、1億5千9百万円(前年同四半期は営業損失41億9百万円)となりました。

その他

その他の売上収益は、60億1千2百万円と前年同四半期に比べ6億3千8百万円(11.9%)の増収となりました。営業利益は、1億8千3百万円と前年同四半期に比べ1千4百万円(8.3%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、2,034億6千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億1百万円増加しました。各項目別の主な要因は次のとおりです。

<流動資産>

流動資産は1,224億円となり、前連結会計年度末に比べ25億5千3百万円増加しました。これは主に、営業債権及びその他の債権並びにその他が減少したものの、現金及び現金同等物並びに棚卸資産が増加したことによるものです。

<非流動資産>

非流動資産は810億6千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億5千1百万円減少しました。これは主に、有形固定資産が減少したことによるものです。

<流動負債>

流動負債は688億1千万円となり、前連結会計年度末に比べ54億9百万円減少しました。これは主に、短期有利子負債並びに引当金が減少したことによるものです。

<非流動負債>

非流動負債は172億4千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億4千4百万円減少しました。これは主に、長期有利子負債が減少したことによるものです。

<資本>

資本は1,174億1千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ77億5千4百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ56億5千9百万円増加し、442億4千2百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動の結果得られた資金は、165億9千8百万円(前年同四半期比9.1%減)となりました。主な増加は、税引前四半期利益133億7千2百万円、減価償却費及び償却費44億4千9百万円であり、主な減少は、法人所得税の支払額36億9千1百万円です。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動の結果使用した資金は、36億8千万円(前年同四半期比430.1%増)となりました。主な減少は、有形固定資産の取得による支出31億9千8百万円です。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動の結果使用した資金は、76億5千2百万円(前年同四半期比33.3%減)となりました。主な減少は、非支配持分株主への配当金の支払額40億3百万円、短期有利子負債の純増減額22億9千8百万円です。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期(2018年4月1日から2019年3月31日までの12ヶ月間)の連結業績予想は、2018年7月27日に公表しました連結業績予想を以下のとおり修正しました。

2019年3月期通期連結業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
前回発表予想(A)	百万円 280,000	百万円 27,000	百万円 27,200	百万円 20,800	百万円 17,000	円 銭 223.78
今回修正予想(B)	284,000	28,500	28,300	21,300	17,300	227.73
増減額(B-A)	4,000	1,500	1,100	500	300	
増減率(%)	1.4	5.6	4.0	2.4	1.8	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期通期)	291,989	25,296	26,042	18,338	13,855	182.39

為替レートは通期平均で、1米ドル=108円、1人民元=16.2円を前提としています。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	38,853	44,242
営業債権及びその他の債権	42,824	38,714
その他の金融資産	462	702
棚卸資産	32,181	35,794
その他	5,524	2,945
流動資産合計	119,846	122,400
非流動資産		
有形固定資産	62,667	61,544
投資不動産	536	536
無形資産	3,021	3,306
持分法で会計処理されている投資	5,199	5,133
その他の金融資産	4,649	4,491
繰延税金資産	1,712	1,781
その他	4,333	4,276
非流動資産合計	82,120	81,069
資産合計	201,967	203,469

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
短期有利子負債	3,782	1,706
営業債務	31,742	31,055
その他の金融負債	9,432	8,117
未払法人所得税	1,589	1,135
短期従業員給付	7,624	8,079
引当金	16,567	13,952
その他	3,480	4,763
流動負債合計	74,219	68,810
非流動負債		
長期有利子負債	5,478	4,733
長期従業員給付	7,336	7,417
引当金	857	850
繰延税金負債	3,900	3,741
その他	517	501
非流動負債合計	18,089	17,245
資本		
資本金	12,698	12,698
資本剰余金	13,417	13,417
利益剰余金	68,679	75,964
自己株式	△54	△55
その他の資本の構成要素	1,335	2,879
親会社の所有者に帰属する持分	96,075	104,903
非支配持分	13,582	12,509
資本合計	109,658	117,413
負債及び資本合計	201,967	203,469

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上収益	140,466	139,676
売上原価	△108,807	△107,447
売上総利益	31,658	32,228
販売費及び一般管理費	△20,235	△16,750
その他の収益	327	365
その他の費用	△239	△2,389
営業利益	11,510	13,454
金融収益	503	315
金融費用	△99	△582
持分法による投資損益	310	184
税引前四半期利益	12,225	13,372
法人所得税	△3,543	△3,168
四半期利益	8,681	10,204
四半期利益の帰属：		
親会社の所有者	6,887	8,196
非支配持分	1,794	2,007
合計	8,681	10,204
基本的1株当たり四半期利益 (単位：円)	90.66	107.90

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期利益	8,681	10,204
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 される金融資産	770	△124
純損益に振替えられることのない項目の合計	770	△124
純損益に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	1,390	1,548
持分法適用会社に対する持分相当額	59	△116
純損益に振替えられる可能性のある項目の合計	1,450	1,431
その他の包括利益合計(税引後)	2,220	1,307
四半期包括利益	10,902	11,511
四半期包括利益の帰属：		
親会社の所有者	8,776	9,740
非支配持分	2,125	1,771
合計	10,902	11,511

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					その他の資本の 構成要素
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の包括利 益を通じて測定 される金融資産	
期首残高	12,698	13,417	53,186	△54	3,539	
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	6,887	—	—	
その他の包括利益	—	—	—	—	770	
四半期包括利益合計	—	—	6,887	—	770	
所有者との取引等						
配当	—	—	—	—	—	
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	
その他の資本の構成要 素から利益剰余金への 振替	—	—	2,215	—	△2,215	
所有者との取引等合計	—	—	2,215	△0	△2,215	
期末残高	12,698	13,417	62,289	△54	2,094	

	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		親会社の所有者 に帰属する持分 合計		
	在外営業活動体 の換算差額	合計			
期首残高	1,364	4,904	84,152	13,188	97,340
四半期包括利益					
四半期利益	—	—	6,887	1,794	8,681
その他の包括利益	1,118	1,889	1,889	331	2,220
四半期包括利益合計	1,118	1,889	8,776	2,125	10,902
所有者との取引等					
配当	—	—	—	△2,839	△2,839
自己株式の取得	—	—	△0	—	△0
その他の資本の構成要 素から利益剰余金への 振替	—	△2,215	—	—	—
所有者との取引等合計	—	△2,215	△0	△2,839	△2,839
期末残高	2,483	4,577	92,928	12,474	105,403

当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の 構成要素 その他の包括利 益を通じて測定 される金融資産
期首残高	12,698	13,417	68,679	△54	2,488
四半期包括利益					
四半期利益	—	—	8,196	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△124
四半期包括利益合計	—	—	8,196	—	△124
所有者との取引等					
配当	—	—	△911	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△0	—
その他の資本の構成要 素から利益剰余金への 振替	—	—	—	—	—
所有者との取引等合計	—	—	△911	△0	—
期末残高	12,698	13,417	75,964	△55	2,364

	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		親会社の所有者 に帰属する持分 合計		
	在外営業活動体 の換算差額	合計			
期首残高	△1,153	1,335	96,075	13,582	109,658
四半期包括利益					
四半期利益	—	—	8,196	2,007	10,204
その他の包括利益	1,667	1,543	1,543	△236	1,307
四半期包括利益合計	1,667	1,543	9,740	1,771	11,511
所有者との取引等					
配当	—	—	△911	△2,844	△3,756
自己株式の取得	—	—	△0	—	△0
その他の資本の構成要 素から利益剰余金への 振替	—	—	—	—	—
所有者との取引等合計	—	—	△912	△2,844	△3,756
期末残高	514	2,879	104,903	12,509	117,413

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	12,225	13,372
減価償却費及び償却費	4,887	4,449
減損損失	18	5
金融収益及び金融費用	△271	△203
持分法による投資損益(△は益)	△310	△184
有形固定資産除売却損益(△は益)	74	38
独占禁止法関連損失	—	2,101
棚卸資産の増減額(△は増加)	17	△3,070
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	1,174	4,358
営業債務の増減額(△は減少)	△792	△821
従業員給付の増減額(△は減少)	812	558
製品保証引当金の増減額(△は減少)	3,283	△2,612
その他	1,008	1,891
小計	22,127	19,882
利息の受取額	245	254
配当金の受取額	288	194
利息の支払額	△79	△42
法人所得税の支払額	△4,313	△3,691
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,268	16,598
投資活動によるキャッシュ・フロー		
その他の金融資産の売却又は償還による収入	3,604	361
その他の金融資産の取得による支出	△175	△618
有形固定資産の売却による収入	143	188
有形固定資産の取得による支出	△4,092	△3,198
その他	△173	△413
投資活動によるキャッシュ・フロー	△694	△3,680
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△0	△911
非支配持分株主への配当金の支払額	△3,462	△4,003
短期有利子負債の純増減額(△は減少)	△7,559	△2,298
長期有利子負債の返済による支出	△447	△438
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,469	△7,652
現金及び現金同等物に係る為替変動の影響額	228	393
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,333	5,659
現金及び現金同等物の期首残高	30,215	38,583
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,548	44,242

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 会計方針の変更

要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下の項目を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

当社グループは、第1四半期連結会計期間より、以下の基準を適用しています。

基準書	基準名	新設・改訂の概要
IFRS第15号	顧客との契約から生じる収益	収益認識に関する会計処理の改訂
IFRS第9号	金融商品	金融資産・金融負債の分類及び測定、減損規定における予想信用損失(ECL)モデルの適用

当社グループは、IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」(2014年5月公表)及び「IFRS15号の明確化」(2016年4月公表)(合わせて以下「IFRS第15号」という。)を第1四半期連結会計期間から適用し、経過措置として認められている、当該基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しています。

IFRS第15号の適用に伴い、IFRS第9号「金融商品」に基づく利息及び配当収益等を除き、以下の5ステップを適用する事により収益を認識しています。

ステップ1: 顧客との契約を識別する

ステップ2: 契約における履行義務を識別する

ステップ3: 取引価格を算定する

ステップ4: 取引価格を契約における履行義務に配分する

ステップ5: 履行義務の充足時に(又は充足するにつれて)収益を認識する

当社グループは、自動車用部品を主に、輸送用機械の精密機能部品の製造及び販売を行っています。これらの製品の販売については、製品の引渡時点において顧客が当該製品に対する支配を獲得することから、履行義務が充足されると判断しており、当該製品の引渡時点で収益を認識しています。また、収益は顧客との契約において約束された対価から、値引、リベート等及び消費税等の税金を控除した金額で測定しています。

また、IFRS第15号の適用に伴い、営業債権及びその他の債権に含めて表示していましたリベートに係る負債をその他の流動負債として表示しています。

この結果、従前の会計基準を適用した場合と比較して、当第2四半期連結会計期間末の要約四半期連結財政状態計算書において、営業債権及びその他の債権並びにその他の流動負債がそれぞれ1,644百万円増加しています。

なお、IFRS第9号「金融商品」の適用が要約四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

(7) セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基に決定しています。

当社グループは、自動車用部品を主に、輸送用機械の精密機能部品の製造及び販売と、これに関連する事業を営んでおり、製品の用途と特性に応じて「二輪・汎用事業」、「四輪事業」、「ステアリング事業」、及び「ガススプリング事業」の4つを報告セグメントとしています。

なお、当社グループの報告セグメントと各報告セグメントごとの主要製品は次のとおりです。

報告セグメント	主要製品
二輪・汎用事業	二輪車用ショックアブソーバ、船外機用パワーチルトトリム、トリムシリンダ
四輪事業	四輪車用ショックアブソーバ、プロペラシャフト、オートマチックトランスミッション部品、デファレンシャルギヤ、その他駆動系部品
ステアリング事業	電動パワーステアリング、油圧パワーステアリング、CVTポンプ
ガススプリング事業	ガススプリング

2. 報告セグメントごとの売上収益及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	その他 (注)1	調整額	連結	
	二輪・汎 用事業	四輪事業	ステアリ ング事業	ガスプ リング事 業					
外部顧客からの売上 収益	38,893	44,103	50,501	1,594	135,092	5,374	—	140,466	
セグメント間の売上 収益	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計	38,893	44,103	50,501	1,594	135,092	5,374	—	140,466	
セグメント利益(△ は損失)(注)2	5,409	3,053	6,988	△4,109	11,341	169	—	11,510	
金融収益及び金融 費用									404
持分法による投資 損益									310
税引前四半期利益									12,225

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車販売等です。

2. セグメント利益(△は損失)は、要約四半期連結損益計算書の営業利益をベースとしています。

当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	その他 (注)1	調整額 (注)3	連結	
	二輪・汎 用事業	四輪事業	ステアリ ング事業	ガスプ リング事 業					
外部顧客からの売上 収益	42,095	44,693	45,273	1,603	133,664	6,012	—	139,676	
セグメント間の売上 収益	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計	42,095	44,693	45,273	1,603	133,664	6,012	—	139,676	
セグメント利益(△ は損失)(注)2	5,570	3,314	6,647	△159	15,372	183	△2,101	13,454	
金融収益及び金融 費用									△267
持分法による投資 損益									184
税引前四半期利益									13,372

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車販売等です。

2. セグメント利益(△は損失)は、要約四半期連結損益計算書の営業利益をベースとしています。

3. セグメント利益(△は損失)の調整額は、区分が不可能な独占禁止法関連損失です。



2018年10月26日

2019年3月期第2四半期連結累計期間

参考資料

連結業績 (IFRS)

(単位:百万円)

	2018年3月期	2019年3月期	差異	2018年3月期	2019年3月期	差異		
	前第2四半期 (6ヶ月)実績	当第2四半期 (6ヶ月)実績		前期(通期) 実績	当期(通期) 今回予想			
売上収益	140,466	139,676	△ 789	291,989	284,000	△ 7,989		
事業別	二輪・汎用事業	ショックアブソーバ	37,047	40,071	3,023	78,814	79,079	265
		ボート用製品	1,845	2,023	178	3,863	4,396	533
		計	38,893	42,095	3,202	82,678	83,476	798
	四輪事業	ショックアブソーバ	32,607	32,255	△ 352	67,966	66,687	△ 1,279
		駆動系	11,495	12,437	942	24,242	25,138	895
	計	44,103	44,693	589	92,209	91,825	△ 383	
	ステアリング事業	50,501	45,273	△ 5,228	102,041	93,372	△ 8,668	
	ガススプリング事業	1,594	1,603	9	3,245	2,847	△ 397	
その他	5,374	6,012	638	11,815	12,477	661		
営業利益	11,510	13,454	1,944	25,296	28,500	3,203		
事業別	二輪・汎用事業	5,409	5,570	160	12,139			
	四輪事業	3,053	3,314	261	5,969			
	ステアリング事業	6,988	6,647	△ 340	15,110			
	ガススプリング事業	△ 4,109	△ 159	3,950	△ 8,397			
	その他	169	183	14	475			
全社	-	△ 2,101	△ 2,101	-				
税引前利益	12,225	13,372	1,147	26,042	28,300	2,257		
当期利益	8,681	10,204	1,522	18,338	21,300	2,961		
親会社の所有者に帰属する当期利益	6,887	8,196	1,309	13,855	17,300	3,444		
基本的1株当たり当期利益	円 銭 90.66	円 銭 107.90	円 銭 17.24	円 銭 182.39	円 銭 227.73	円 銭 45.34		
営業利益増減要因	29,138	1,944		28,560	3,203			
売上変動構成変化等	5,224	△ 345		8,703	△ 2,035			
原価低減効果等	1,709	1,285		3,364	3,190			
労務費(ベースアップ影響)	△ 544	△ 506		△ 933	△ 973			
研究開発費	229	△ 400		336	△ 1,204			
販管費・その他収益費用	20,524	2,142		14,883	6,131			
為替影響 ※	1,996	△ 232		2,209	△ 1,905			
設備投資	2,429	3,098	669	6,872	9,618	2,746		
減価償却費	4,887	4,449	△ 437	9,663	8,789	△ 875		
総資産	204,582	203,469	△ 1,113	201,967				
資本合計	105,403	117,413	12,009	109,658				

※ 営業利益増減要因の各項目の金額は、前期の為替レートで換算しており、当期の為替レートによる換算との差(換算差)は「為替影響」に含めています。

個別業績 (日本基準)

	2019年3月期	2019年3月期	差異	2018年3月期
	当期(通期) 前回(7/27)予想	当期(通期) 今回予想		前期(通期) 実績
売上高	113,300	112,600		109,129
営業利益	7,100	7,200		7,398
経常利益	18,700	20,900		20,990
当期純利益	15,800	16,000		13,449